

平成23年度 大阪府立 茨木支援 学校 学校協議会 第3回 報告書

日時	平成24年1月26日(木) 13:00-15:30			
ご出席者	協議会委員	職名等	協議会委員	職名等
	應 武 善 郎	ダイキンサンライズ摂津社長	高 塚 良 則	校 長
	川 津 章 徳	茨木高槻交通営業所長	小 林 信 恵	准校長
	辰 見 宣 夫	学校医	奥 野 喜 之	教 頭
	鈴 木 博	大阪府教育センター非常勤嘱託員	人 見 光 彦	教 頭
	対 馬 康 全	福井地区福祉委員長	島 田 敬 三	事務長
	土 井 節 子	茨木保健所地域保健課主査	宇津木 みつえ	小学部主事
	岩 村 有香子	P T A会長	梅 本 博 之	首席、中学部主事
			小 田 功	高等部主事
			前 田 成 雄	首席、教務部長
			大 根 智 大	首席
			槇 場 政 晴	指導教諭
ご欠席者	加 藤 典 子	大阪府吹田子ども家庭センター 次長・兼虐待対応課長		
おもなテーマ	・教育課程と教育課題について(小学部) ・教育コミュニティ事業について		・防犯防災対策について(防犯防災対策検討Gより) ・学校評価について	
提言内容 改善方策等	<p>・准校長挨拶後、本年度全面実施となった新教育課程の現状と課題について小学部から、続いて教頭から本年度初実施の教育コミュニティ事業の取り組み報告があった。委員からは、新課程での医療的ケアや一授業時間等について質疑があったのち、一層の教育活動の充実をめざすことが確認された。また、教育コミュニティに関しては、今後も地域との交流を深めていくよう、ご提言をいただいた。</p> <p>・次に担当より東日本大震災を踏まえて、本校の防犯防災対策の見直し報告があった。想定する震災の程度等のいろいろな質疑のあと、本人が常に携帯する障がい者の状況を記入したカードの必要性を訴える意見があり、医療サイドからも個人情報保護の壁があってもカードは必要との賛同意見が添えられた。また、本校は津波被害以外の具体的震災を考慮すべきとの意見もいただいた。</p> <p>・続いて、学校いきいきアンケートについて首席から報告があった。48項目のアンケートで評価が低い3項目の中でも、毎年一番低い「施設・設備」の環境整備評価に関しては、具体的に評価の低い箇所を特定して対処していくべき、とのご提言をいただいた。また、回収率に関しては、毎年未提出を続けている人の意見こそ、聞き取る必要がある時期に来ているとの意見もいただいた。</p> <p>・最後に校長から謝辞とともに、平成23年度の学校経営計画の進捗状況評価報告が簡潔になされた。個別の教育支援計画の全学部共通様式化やHP(ホームページ)を活用した学校情報の公開継続化をはじめ、地域の学校とのインクルーシブ教育の推進・教員の専門性向上のための研究授業の開催・大震災を踏まえた防災計画の見直し等の報告が確認され、終了となった。</p>			